



290人が挑んだ 51.5kmの鉄人レース

第12回 愛南町いやしの郷トライアスロン大会

2025. **6.7** SAT 13:00 START 愛媛県 愛南町 西海地域



福島旺 (日本食研トライアスロン部)



藤坂百恵 (徳島県)

梅雨入り宣言直前の6月7日(土)、青空広がる愛南町に290人の鉄人たちが全国26都府県から集結。

闘志と熱気に満ち溢れた開会式で中村^{まさのり}維伯町長は「ひたむきにフィニッシュへ挑むその勇姿で、この愛南の町と人を元気にしていただきたい」と鼓舞しスタートの号砲を鳴らしました。

起伏に富んだ全国屈指の難関コースで繰り広げられるレースは、公益財団法人日本トライアスロン連合公認大会。男子は福島^{あきら}旺さん(日本食研トライアスロン部所属)が2時間0分27秒でゴールテープを切り2連覇。女子は、藤坂^{ももえ}百恵さん(徳島県)が2時間23分26秒でゴールし堂々の3連覇で会場を沸かせました。





SWIM 1.5km

スイムはフローティングスタートを採用。
2分ごと3グループに分けてスタートし、1往復750m
のコースを2往復する。



BIKE 40km

バイクコースは1周10km。最大標高差約156m。
スタート直後から容赦なく襲いかかる急な上り坂を、
選手たちはバイクで懸命に駆け上がっていく。



RUN 10km

西海トンネルを通り久家地区を回るコースを3周する
10kmの道のり。懸命に走り続ける選手らの背中を、
地域の声援が後押しする。





兵庫県丹波篠山市とスポーツを通じた姉妹都市交流



姉妹都市交流ランナーとして出場した井上隆史さんは、10年ぶりのトライアスロンにも関わらず2時間36分7秒でゴール。「大会はもちろん、町そのものが素晴らしかった。来年は子どもたちと一緒に愛南を堪能し、大会にも出場したい」と話しました。

丹波篠山市長から託された親書を中村維伯町長に手渡し、姉妹都市交流を深めました。

町出身パラアスリート中道穂香さん トライアスロン初挑戦で見事完走

先天性の障がいで生まれつき右足がない中道穂香さん。笑顔を絶やさずゴールを目指す姿に、多くの声援が送られました。

詳しくは8月号で掲載予定です。



船越小学校の児童手作り心の込もった完走メダル



力を合わせて300個以上のメダル制作



愛媛CATV動画



大会データ

【男子総合部門】

- 1位: 福島 旺 (愛媛県) 2:00:27
- 2位: 小林 幸誠 (愛媛県) 2:02:29
- 3位: 近藤 浄士 (学生連合) 2:09:53

【女子総合部門】

- 1位: 藤坂 百恵 (徳島県) 2:23:26
- 2位: 松岡 喬子 (高知県) 2:32:14
- 3位: 松本 華奈 (島根県) 2:34:03

当日出場者数: 290人

完走者数: 268人

OPEN参加: 3人

(伴走者含む)



愛媛
CATV
動画



アワードパーティーで鉄人をおもてなし



アワードパーティーで賞状を受け取った女子1位の藤坂百恵さんは、「レース中には、名前を呼んでくれる地元の方もいて、毎年大きなパワーをくれる。圧倒的強さを見せられるよう、練習を積んでいきたい」とまぶしい笑顔で話し、男子1位の福島旺さんは「来年は2時間切り達成が目標。沿道からのハイタッチ多めで私に力を分けてください」と、早くも来年を見据えて抱負を述べました。



びやびやかつおや愛南ゴールドなど愛南の幸に舌鼓を打ち、共に戦った仲間と交流するアワードパーティー。出会い・再会に笑顔が溢れ、来年の再会を誓って鉄人たちは帰路につきました。

